



ふくしま子ども・ 女性医療支援センター

福島の女性が安心して子どもを産み、育み、健康な一生を過ごせることをめざして



安心して子どもを産み、 育てられる福島県へ



ふくしま子ども・
女性医療支援センター
センター長
高橋 俊文

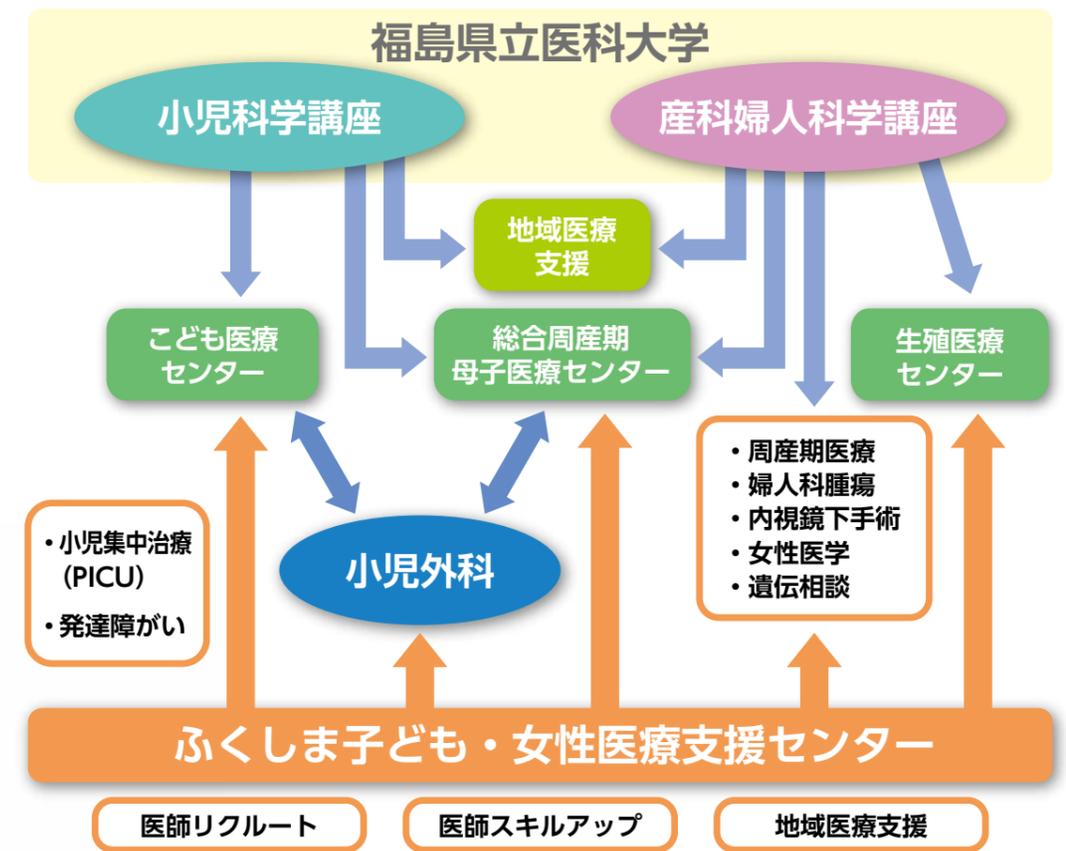
福島県は、慢性的な医師不足や医師の偏在を解消するために、福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置し、県内への医師定着を促進する事業を展開してまいりました。

特に周産期医療に関わる、産婦人科、小児科医師が不足していましたが、2011年の東日本大震災をきっかけに状況はさらに悪化しました。このような状況を打破するため、県の委託を受け、2016年4月、福島県立医科大学に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」が開設されました。初代センター長には水沼英樹先生が着任し、2020年11月からは高橋が2代目のセンター長を拝命しております。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例をみない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の医療に携わる医師の養成を支援していきます。

福島県の小児科・産婦人科医療と センターの関わり



センターが取り組んでいる主な事業

医師リクルート	全国から小児科、小児外科、産婦人科のエキスパートをリクルートします 県内の小児科、小児外科、産婦人科専門医コースへのリクルートを支援します 全国の産婦人科専攻医の福島県内基幹病院での連携研修を支援します
医師スキルアップ支援 (人材育成)	県内の若手産婦人科医師の臨床指導・研究指導を行います 県内の研修医向けに小児科・産婦人科関連の出前講座を行います 県内の産婦人科医師のためにスキルアップ研修会・講演会を開催します
地域医療支援	県内の拠点病院への医師派遣を行います 県内の拠点病院の子ども・女性医療の診療支援を行います 発達障がい児の診断・治療に関する診療を支援します
卒前教育と学内医療支援	県立医大の学生教育をサポートします 学内の小児科、小児外科、産婦人科の診療支援を行います 学内の小児集中治療室 (PICU) の診療支援を行います
その他	県外学生を対象にした福島県内の周産期医療ガイダンス 県立医大の学生を対象にしたハンズオントレーニング 助産師外来の設立と運営に関する支援



細矢 光亮 教授
小児科学講座



藤森 敬也 教授
産科婦人科学講座



田中 秀明 教授
小児外科

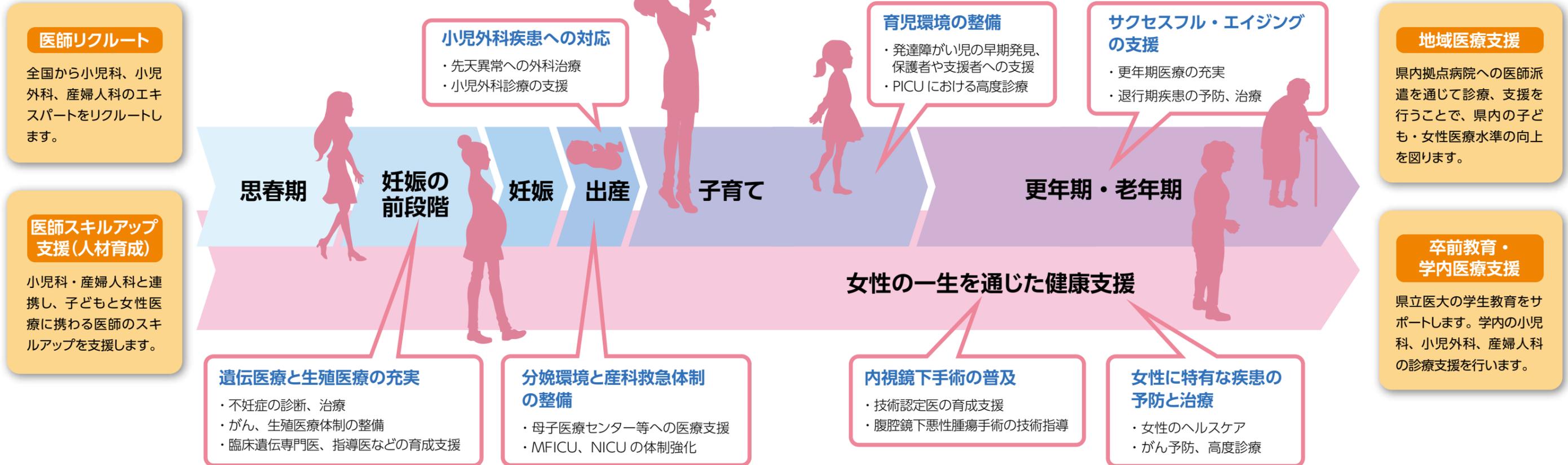
従来、福島県の小児科医療、産婦人科医療は福島県立医科大学小児科学講座、産科婦人科学講座が中心となって推進されてきました。それぞれの講座は、附属病院の中央診療部門である“こども医療センター”、“総合周産期母子医療センター”、“生殖医療センター”に人材を派遣し、また、県内の主要病院に教室員の派遣を行い福島県の県内の小児科医療、産婦人科医療を守りその向上に貢献してきました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターはこれらの講座と密接な連携を図り、小児科部門では小児集中治療室 (PICU) の充実化や小児発達障がい児の診療と早期発見支援システムの構築を行っています。令和2年度からは小児外科医も加わり、周産期外科疾患の診療にも支援の範囲を広げています。

一方、産婦人科部門では周産期医療、生殖医療、婦人科腫瘍、内視鏡下手術、女性医学、遺伝相談などの分野での医療支援に加え、学生教育や専門医の論文指導の支援を行っています。

福島県に住む女性が健康な一生を過ごすための医療支援をしながら、安心して子どもを産み、育てる環境をつくります

小児科医・産婦人科医の招へいと定着とともに、小児科、小児外科、産婦人科が連携し、女性の一生を通じた診療体系を構築します。



昭和大学産婦人科より専攻医連携研修の受け入れをサポートしています。

様々な症例を経験でき、 できることが増えていると実感

こんにちは。私は会津若松市にある竹田総合病院の産婦人科に勤務させていただいています。この度初めて福島県に住みましたが、すでに居心地の良さを感じています。病院のスタッフはみなさん親切で、仕事もしやすいです。見知らぬ土地で不安を抱えていましたが、当院や福島医大の先生方も、馴染みのない私を快く招き入れてくださり、医局員同様に接して下さるため、非常に心強く、不安はすぐに薄れました。

こちらに来て初めて自分の外来を持たせていただいたり、手術の計画から術後フォローまでさせていただいたりするようになりました。指導医の先生方にご指導いただきながら、少しずつではありますが、できることが増えてきていることを実感しています。当院は分娩数が福島県の中でも多いことが特徴ですが、それと並行して悪性疾患も含めた婦人科疾患の診療、手術も行っているため多様な症例を経験できます。

また、同時に周りに病院が少ない環境でのマネジメントの難し

さも感じています。自宅が遠方で通院が難しい、当院で受け入れが難しい妊婦さんの搬送先が遠いなど、医療以外の社会的要素を考慮する必要があります。また、一番痛感したのは雪の中での生活が非常に大変ということ。雪が降ると交通に不便が出てきて通勤や通院も一苦労です。毎年この雪とうまく付き合ってきている会津の皆さんの強さを感じました(それでも例年より積雪量は少なかった様ですが)。

そんな会津は、日本酒や馬刺しが有名で、食の楽しみもあります。福島県、また会津若松での研修に興味がある方はぜひ見学にいらしてください。

栗木 あかね
専攻医2年目



令和2年10月より
竹田総合病院で研修

産婦人科医療の全ての分野で 学びを深めることができる

私は2020年10月より、昭和大学産婦人科の専攻医地域研修として白河厚生総合病院産婦人科に勤務させていただいております。前任の専攻医より、当院は症例が豊富で経験をたくさん積むことができると聞いていたので、赴任するのがとても楽しみであり、実際勤務が始まってからは想像以上に多くの症例を経験させて頂いております。

当院の特徴として産婦人科は福島県立医科大学、東北大学、昭和大学から派遣されているため、同じ症例でも様々なアプローチ方法があることを学ぶことができます。例えば帝王切開術の場合、昭和大学では電気メスを用いて行いますが、当院では基本的に電気メスを用いないので、赴任した頃はメスやクーパーの使い方に四苦八苦した覚えがあります。また、腔式子宮全摘術や腔閉鎖術など当院に特徴的な手術もあり、今後の産婦人科医師人生に向けて貴重な経験を積ませて頂いております。更に、細分化の進む産

柴野 芳影
専攻医2年目



婦人科医療において周産期・腫瘍・生殖医療全ての分野を学びつつ、地域の皆様の人生に寄り添えるよう日々過ごしています。

白河は、美味しい野菜や果物、お肉が豊富にあり自然にも恵まれており、高速道路や新幹線などが充実して交通の便がとてもよいところです。また、思っていたより雪が少なく住みやすく、那須高原などの観光地も近いので休日は家族で出かけることができます。公私共に充実した研修に興味ある方は、是非一度見学にいらしてください。



令和2年10月より
白河厚生総合病院で研修

センタースーパーバイザーおよび教員



■専門分野
生殖医学、周産期医学、生命倫理
■研究テーマ・成果
生殖生理学、再生医学、生殖内分泌、発生生物学
■主な学会活動
2007年 日本産科婦人科学会理事長（2011年まで）
2010年 日本生殖医学会理事長（2014年まで）
2011年 日本産科婦人科内視鏡学会理事長（2015年まで）
その他数多くの学会理事歴任
■主な社会活動
2013年 一般社団法人吉村やすのり生命（いのち）の環境
研究所代表理事
2013年 内閣官房参与（少子化対策・子育て支援担当）

吉村 泰典
福島県立医科大学副学長
ふくしま子ども・女性医療支援センター
スーパーバイザー（非常勤）



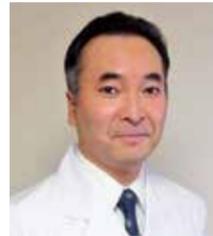
■専門分野
生殖医療、生殖内分泌学、婦人科内視鏡下手術
■研究テーマ・成果
不妊症の診断・治療
卵子の老化に関する研究
多嚢胞性卵巣症候群の診断・治療に関する研究
小児・AYA世代がんサバイバーのヘルスケア
■主な学会活動
日本生殖医学会代議員
日本受精着床学会理事
日本卵子学会理事

高橋 俊文
センター長
産婦人科



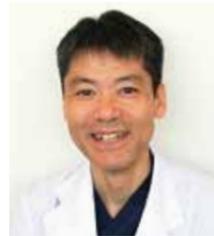
横山 浩之
教授
小児科

■専門分野
小児神経学
■研究テーマ・成果
子どもの行動異常（発達障害、精神障害）と
それに関わる教育・保健・福祉との連携



西郡 秀和
教授
産婦人科

■専門分野
周産期医学、遺伝カウンセリング
■研究テーマ・成果
周産期環境と子どもの神経発達に関する研究、
周産期メンタルヘルスに関する研究



神保 正利
特任教授
産婦人科

■専門分野
周産期医学
■研究テーマ・成果
県外の大学産婦人科との連携システムの構築、
災害時における産科医療の教育システムの開発



南 洋輔
特任助教
小児外科

■専門分野
小児外科一般
■研究テーマ・成果
再生医療、新生児外科学



清水 直樹 小児科
特任教授（非常勤）

■専門分野
小児科学、救急医学、
集中治療医学、蘇生科学
■現勤務先
聖マリアンナ医科大学小児科学



新津 健裕 小児科
特任講師（非常勤）

■専門分野
集中治療医学、小児科学、
Critical Care Outreach
■現勤務先
埼玉県立小児医療センター
集中治療科



齊藤 修 小児科
特任講師（非常勤）

■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、
小児科学
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
集中治療科



荻原 重俊 小児科
特任助教（非常勤）

■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、
小児科学
■現勤務先
手稲溪仁会病院
小児科/小児集中治療科



ふくしま子ども・
女性医療支援センター



福島 明宗 産婦人科
特任教授（非常勤）

■専門分野
臨床遺伝学、周産期医学
■現勤務先
岩手医科大学医学部
臨床遺伝学



福井 淳史 産婦人科
特任教授（非常勤）

■専門分野
生殖医学・生殖免疫学・生殖外科・
内視鏡手術
■現勤務先
兵庫医科大学産科婦人科



太田 邦明 産婦人科
特任准教授（非常勤）

■専門分野
生殖内分泌（生殖医学・女性医
学）、生殖外科
■現勤務先
東邦大学大森病院



磯部 真倫 産婦人科
特任講師（非常勤）

■専門分野
婦人科腹腔鏡下手術、
婦人科腫瘍、医学教育
■現勤務先
新潟大学医学部総合病院
総合研修部・医療研修センター

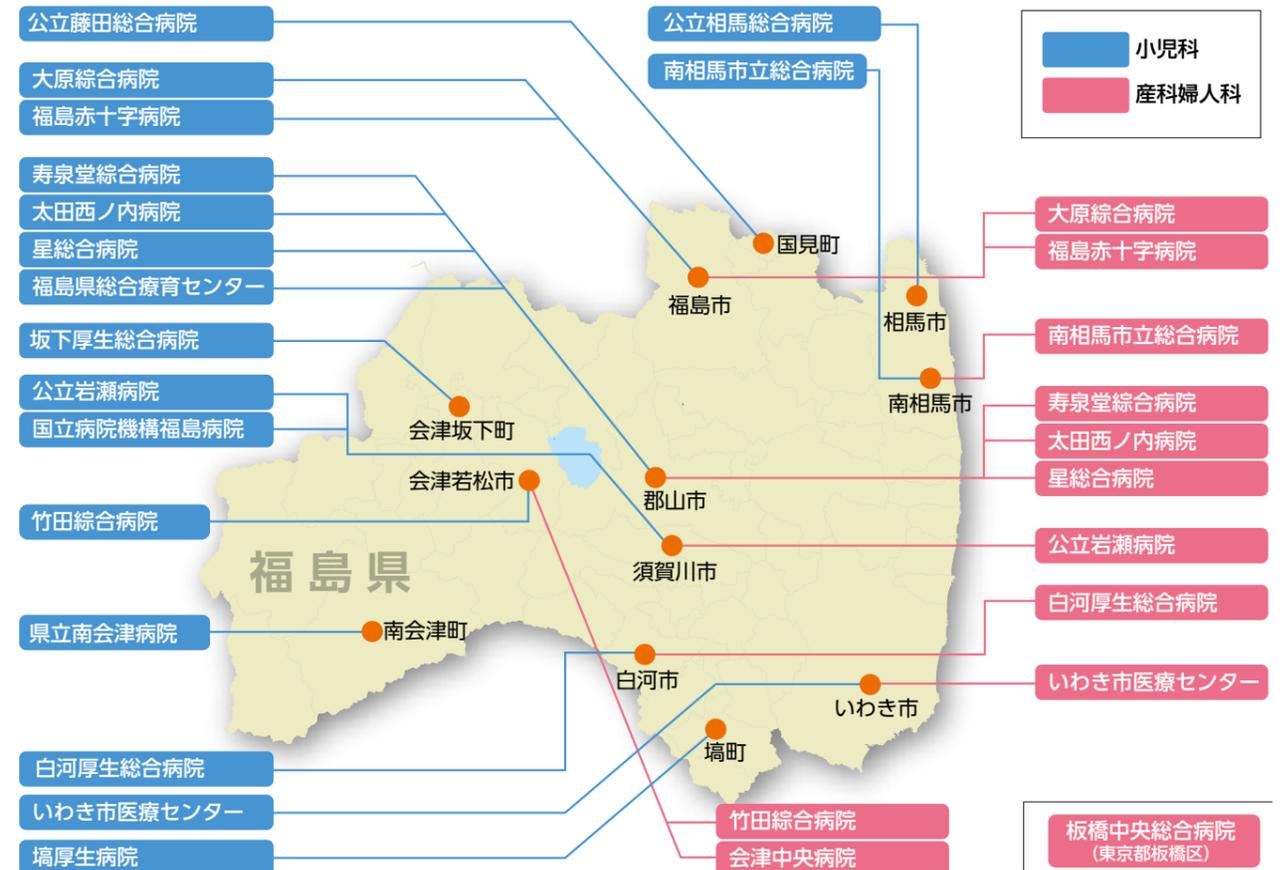
福島県の産婦人科・小児科医療の向上を一緒に目指しませんか

ふくしま子ども・女性医療支援センターでは以下の人材を求めています

- 1 福島県に貢献できる産婦人科または小児科医で、
専攻医の臨床指導や研究指導が可能な医師
- 2 産婦人科専門医取得後の医師で、福島県の産婦人科医療の発展に
興味を持つ医師あるいは臨床研究に興味を持つ医師
- 3 産婦人科専門医取得後の医師で、
福島県で産婦人科診療と臨床研究を行いながら、
自らのキャリアアップを目指す医師

猪苗代湖と磐梯山 [猪苗代町]

後期研修協力病院





福島の見どころ・うまいもの

広い県土を有する福島には、豊かな自然が育んだ数々の名所やうまいものがたくさんあります。



磐梯吾妻スカイライン

高湯温泉と土湯峠を結ぶ29kmの山肌を縫うように走る観光道路。季節ごとに変化に富んだ風景を見せてくれます。



諸橋近代美術館

サルバドール・ダリを中心に、19～20世紀の巨匠の作品を収蔵。四季ごとに美しい庭園を望むこともできます。



果物

福島は全国有数の果物の産地。サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴなど四季を通して様々な果物を楽しめます。



日本酒

全国新酒鑑評会で、8回連続金賞受賞蔵数日本一を誇る酒どころ・福島。会津地方を中心に、美酒・銘酒が楽しめます。



円盤餃子

フライパンの形に合わせて餃子を丸く並べて焼くことから、「円盤餃子」と呼ばれています。小ぶりでお食べやすいのが特徴です。



アクアマリンふくしま

東北最大級の楽しく学べる体験型水族館です。潮目の海をテーマに800種類を超える生物を展示しています。



Jヴィレッジ

提供：株式会社Jヴィレッジ

サッカーのナショナルトレーニングセンターです。スタジアムのほか、ホテルやフィットネスジムも完備しています。



ラーメン

今や全国区となった喜多方をはじめ、白河、西会津味噌、裏磐梯山塩、郡山ブラックなど、個性豊かなラーメンが揃います。



温泉

飯坂、高湯、磐梯熱海、甲子、東山、中ノ沢、いわき湯本など県全域で様々な種類の温泉が楽しめます。



車 東北自動車道 福島西 I.C.より約13分、
福島松川スマート I.C.より約8分

バス JR福島駅東口バス乗り場(5番または6番ポール)より乗車、
バス 「医大病院」または「医科大学前」下車(約36分)



公立大学法人 福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 TEL 024-547-1385 FAX 024-547-1386
<https://www.fmu.ac.jp/home/fmccw/> E-mail fmccw@fmu.ac.jp

